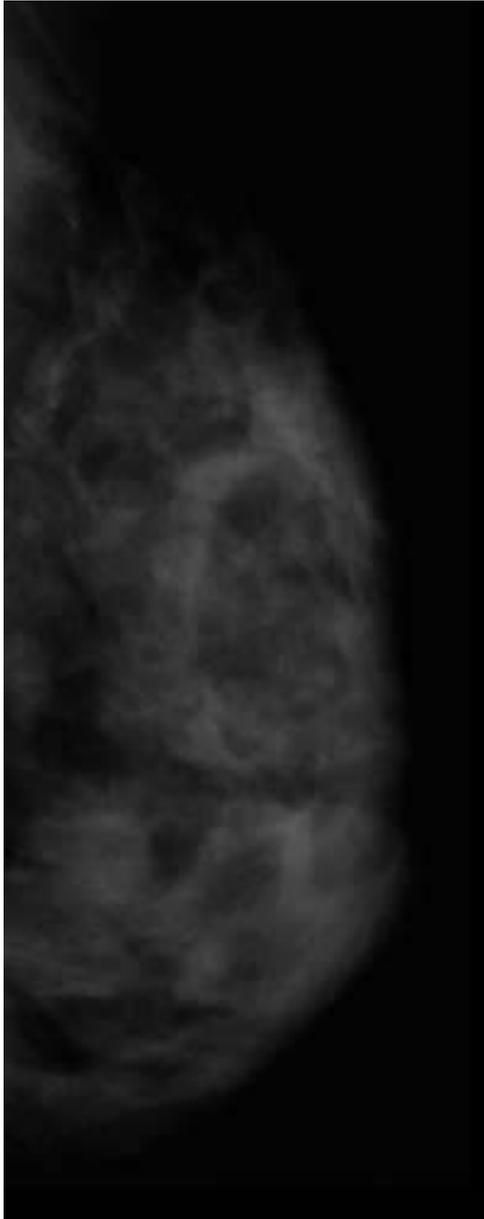


A. 良性上皮性腫瘍・非浸潤がん

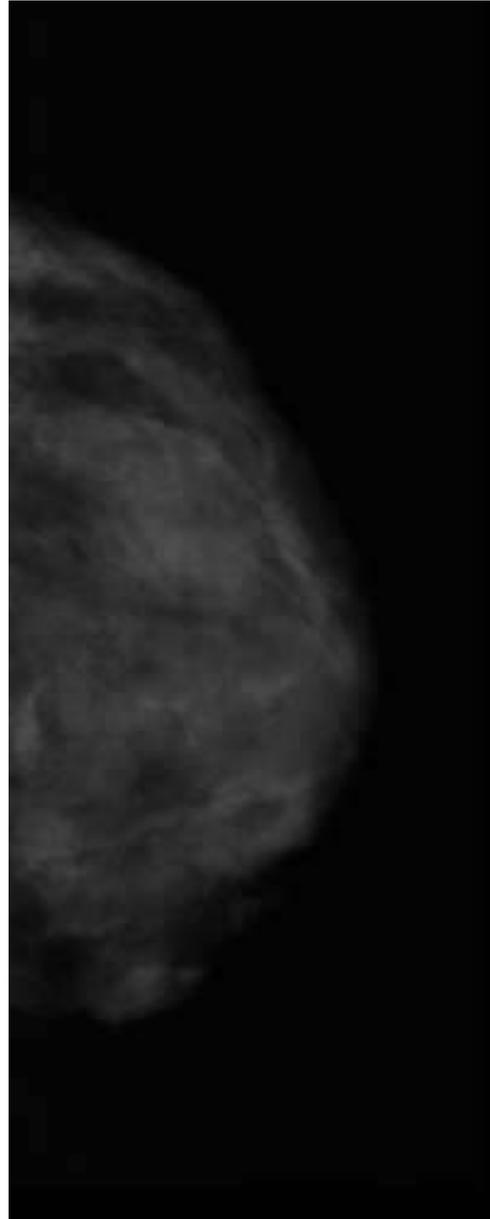
8. 非浸潤性乳管がん

(非触知, MMG石灰化症例)

画像のポイント

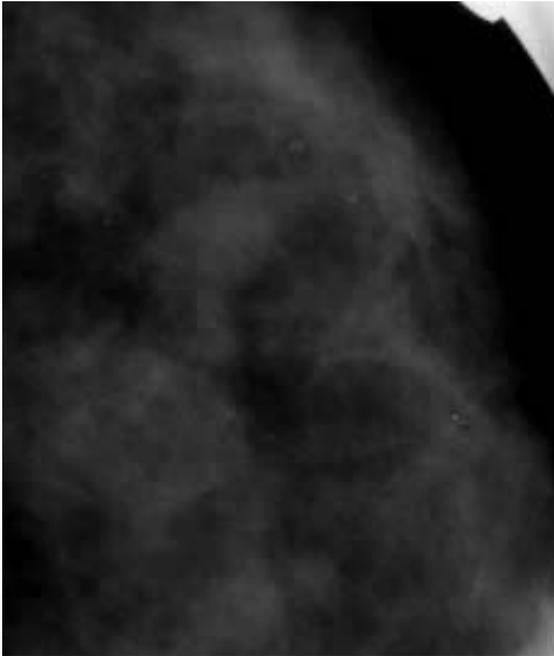


左MLO

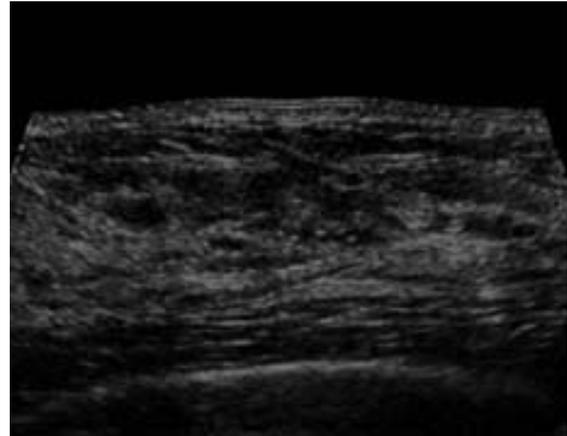


左CC

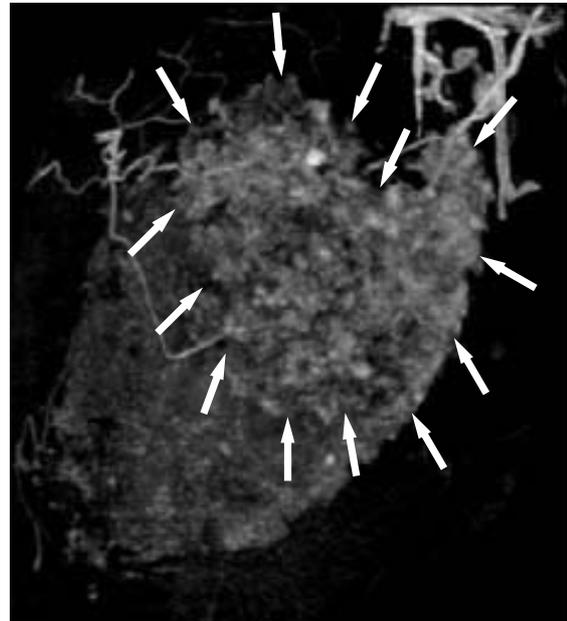
画像1 マンモグラフィ



画像2 マンモグラフィ（拡大スポット撮影）
 左C領域に淡く不明瞭な石灰化の集簇を認める。数はまばらだが、ところどころに集簇群を形成し、全体として区域性の分布が疑われる。



画像3 超音波（横断像）
 マンモグラフィで石灰化を認めた部位に一致して斑状の低エコー域を認める。



画像4 CT（MIP）
 左C領域に広範な区域性の濃染域を認める（矢印）。

疾患の概要

「非浸潤性乳管がん」参照。

画像診断のポイント

本症例も「非浸潤性乳管がん」の症例と同様、マンモグラフィでは淡く不明瞭な石灰化の集簇を認めるが、よく観察すると集簇群を形成し、全体として区域性の分布が疑われる。超音波検査では、石灰化が存在すると思われる部位に斑状低エコー域を認めるが、所見は乳腺症様の所見に類似しており、本症例のように発達した背景の実質と変化を分離鑑別するのが難しい症例である。検出するポイントは、石灰化が存在することを意識しながら、対側乳腺や他区域と比較することである。また、本症例も「非浸潤性乳管がん」と同様、石灰化や超音波所見以上に乳がんが広範に広がっているのがCT検査で明確になった症例である。

代表的撮像法

マンモグラフィ，超音波検査，MRI，CT。

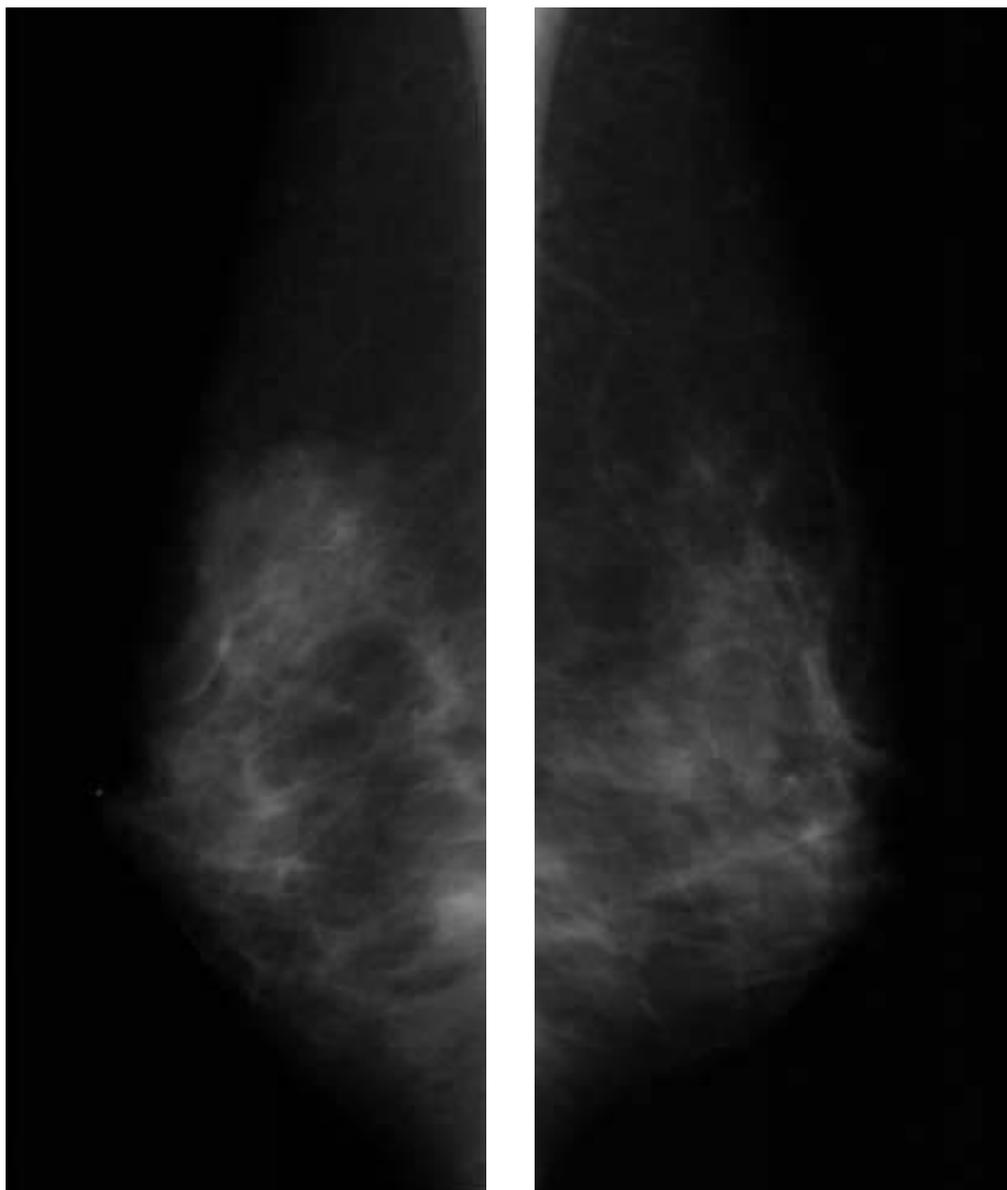
撮像のポイント

「非浸潤性乳管がん」参照。

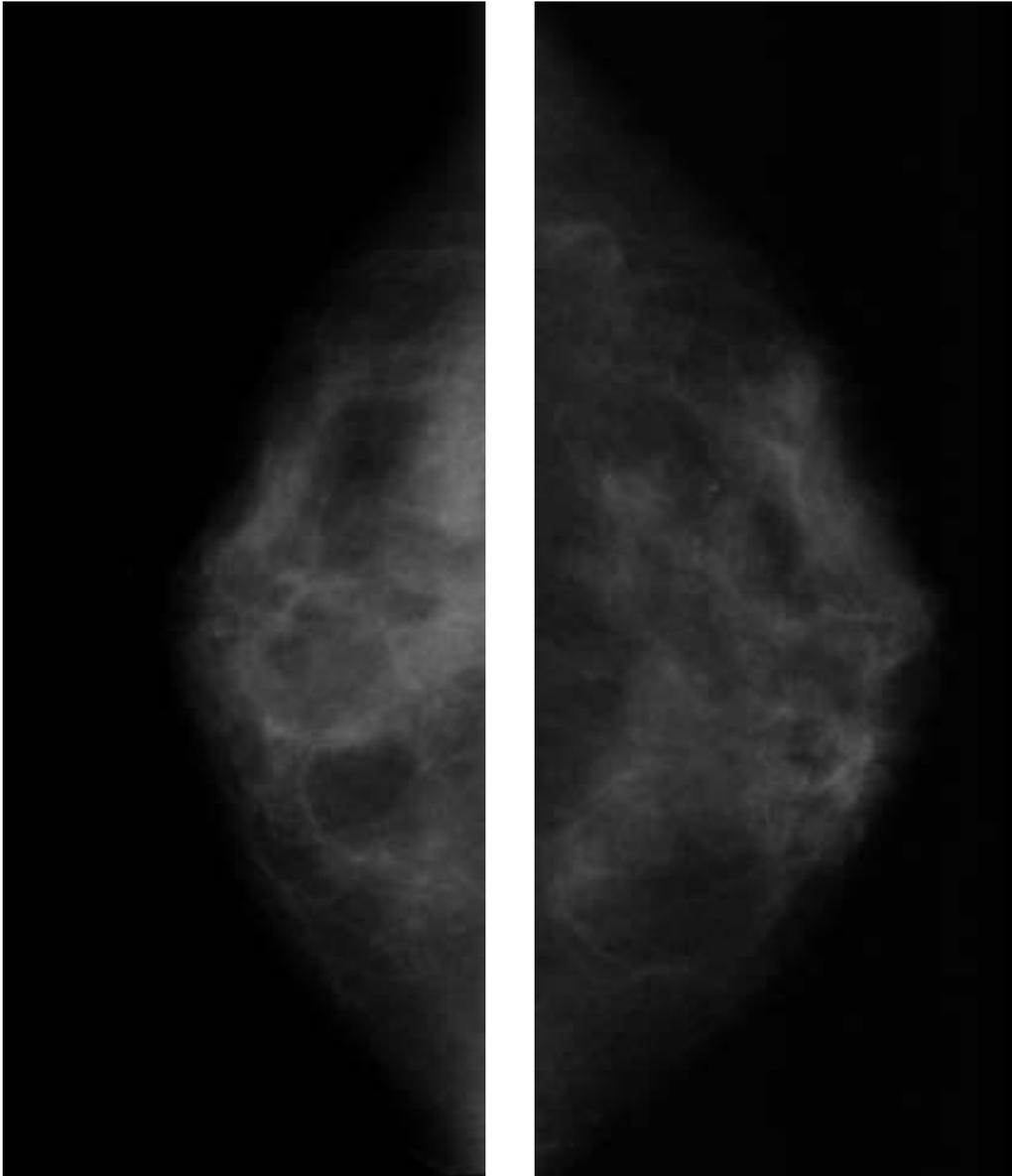
A. 良性上皮性腫瘍・非浸潤がん

9. 非浸潤性乳管がん (非触知, MMG石灰化症例)

画像のポイント



画像1 マンモグラフィ (MLO)



画像2 マンモグラフィ (CC)